（例）　平成　　年度　　**○○工事総合工程表**　　業者名

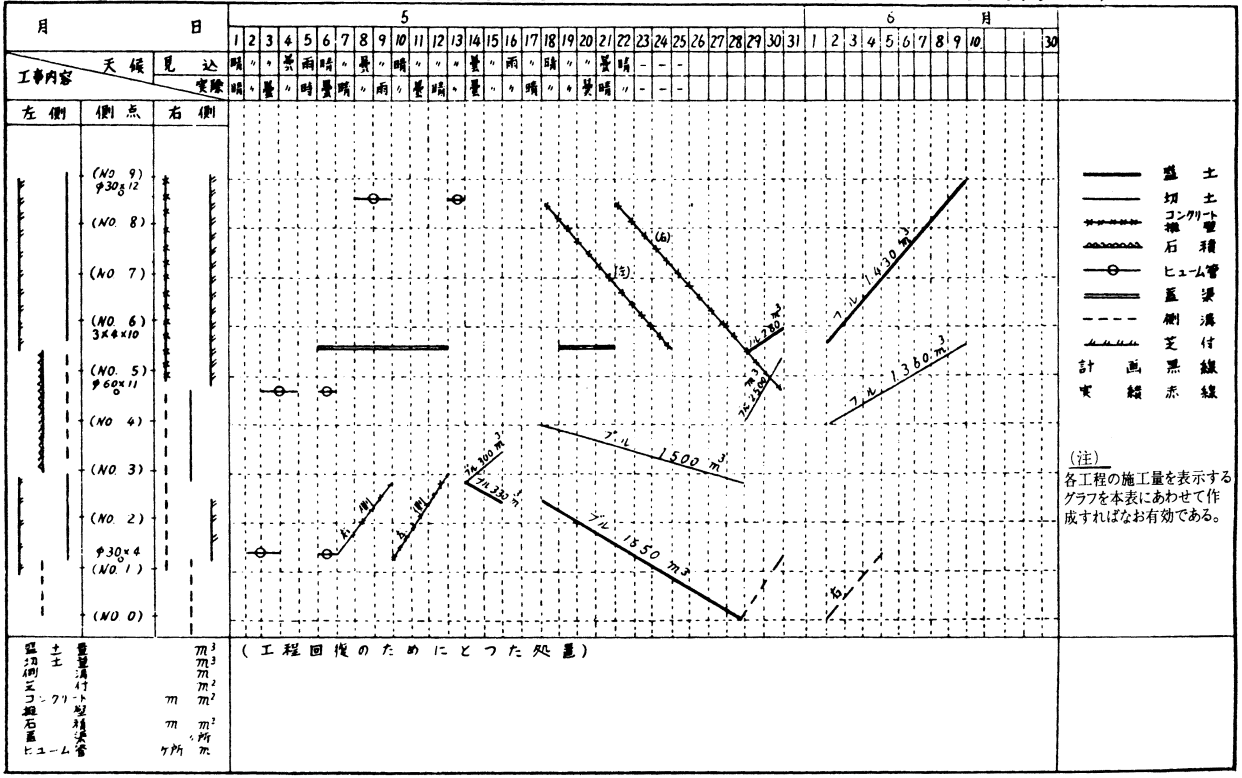
	工種	種別	数量	換算率	所要日数	月別 5	6	7	8	9	10	摘要
工程実績計画表	土工	切土	20,000㎥	20	60		7000(5.1) 7000(5.2)	7000(5.1) 7000(5.2)	6000(4.8)			
		盛土	30,000㎥	8	80		7000(1.0) 7000(1.0)	7000(1.0) 7000(1.3)	8000(1.7)	6000(1.0)	2000(0.3)	
	擁壁	重力式擁壁	100m 1000㎥	26	100							
		ブロック積擁壁	1000㎥	23	50							
	排水	側溝	500m	7	10							
		集水桝	10ヶ所	3	30							
		函渠	20m	0	30							
	雑工事	支道取付	5ヶ所	2	10							
	仮設	防護柵	200m	4	7							
		山留工	20m	2	4							
総合（金額）工程				100		(5) 5	(23) 20	(51) 50	(78) 80	95	100	
記事												

※記入要領
上段は予定数量を記入し（月別）換算出来高率を（　）書で記入する。
下段は実績数量を記入する。
変更指示があった時点で変更数量により予定を組み替える。
この時点において、数量が増大し工期的に不可能な場合は協議して工期の延期をする。

工程の算出は直接工事費（指定仮設の含める）までの請負費によりおのおの請負者側で算出するが指示票による増減があった場合はその都度請負者側で見積り請負費の増減により組み替えて率を計上する。（10%程度の変更指示で訂正する。）
又算出根拠は整理しておくこと。
総合工程は種別出来高換算率の合計で月別は累計で計上する。
工種は雑工事までとするが、指定仮設等で特に工程に影響がある仮設については記載する。
工種、種別、数量についてはあらかじめ監督職員と協議して作成する。

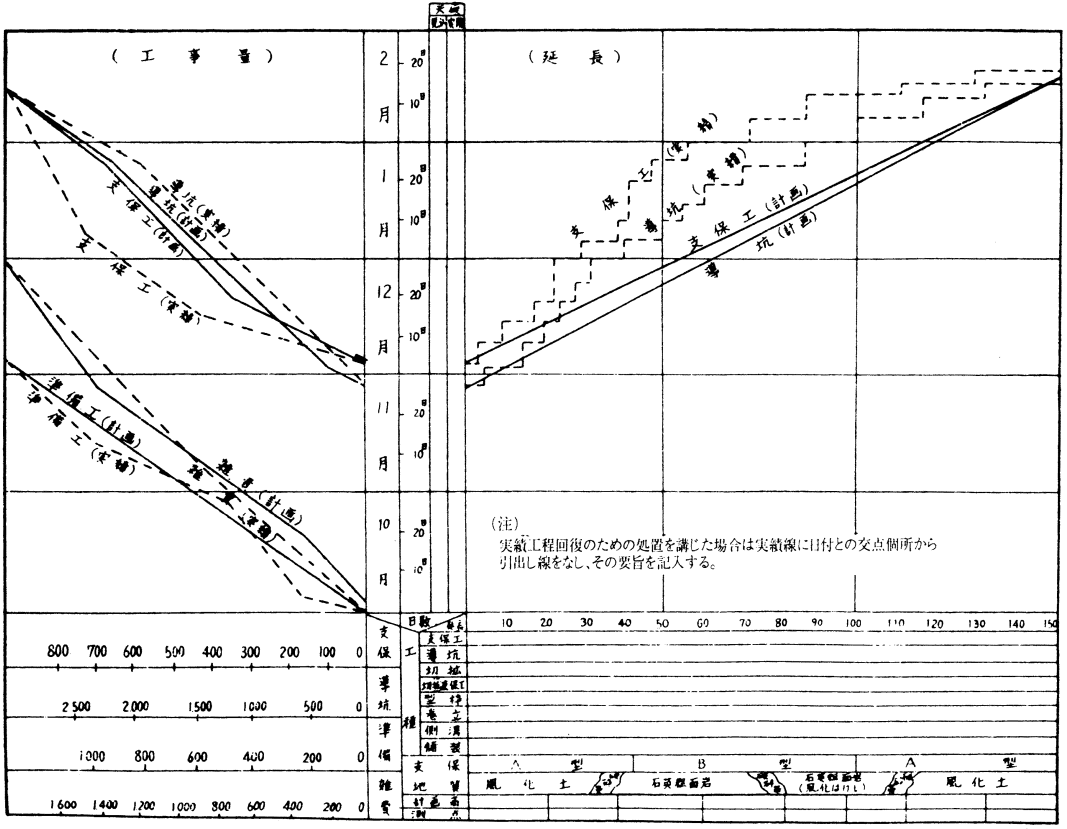
換算率＝$\frac{\text{種別工事費}}{\text{直接工事費}}$

平成　　年度　○○○○○○工事　短期工程表（参考例－1）



備　考　1．この例では実績を記入してないが、実施にあたっては色別記入のこと。　2．本工程表は細別の多い道路改良工事等に適用すると都合がよい。
3．天候の記入は色分け記号を用いてよい。

平成　　年度　○○○○○○工事　短期工程表（参考例－2）

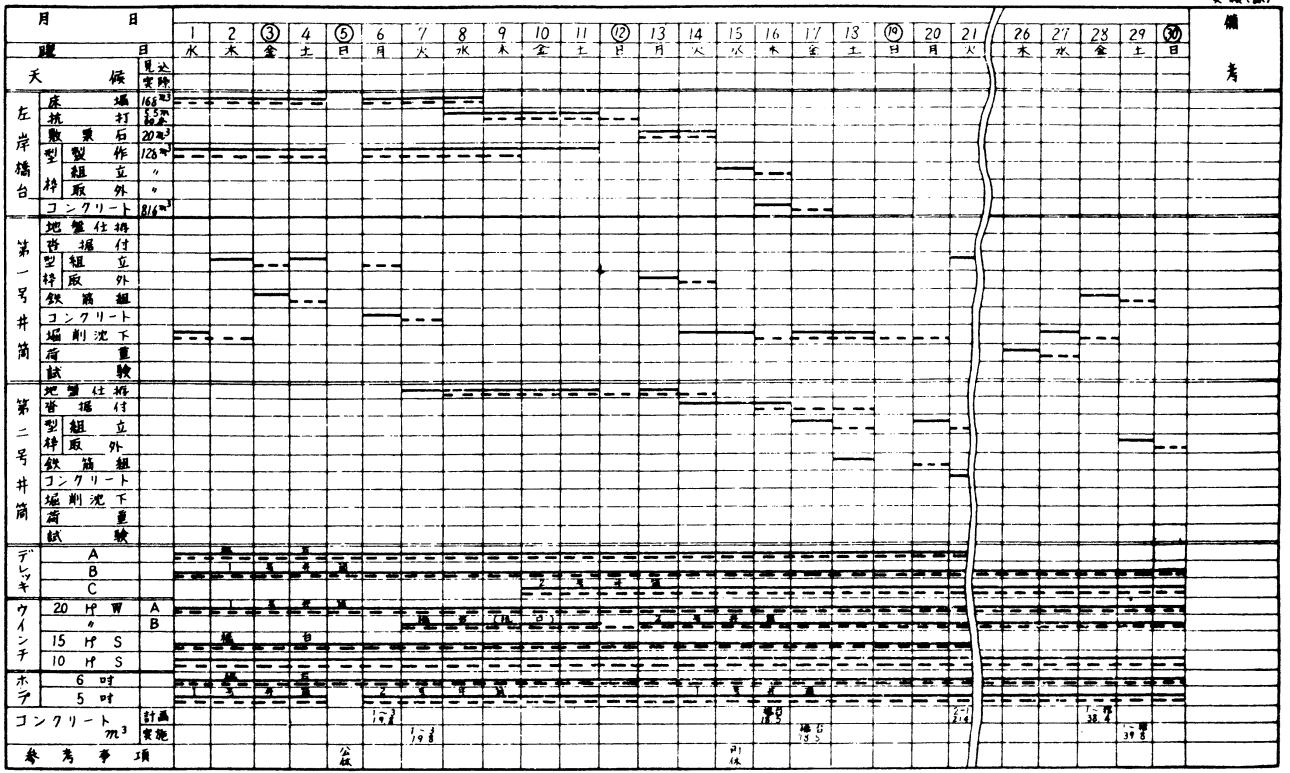


（注）
1　短期工程表については縦の日数を引伸し工程を細分すればよい。
2　天候は色分け、あるいは記号によってもよい。
3　隧道工事等に使用される。

計画――――（黒）
実績－－－－－（赤）

平成　　年度　○○○○○○工事　短期工程表（参考例－5）

計画（黒）
実績（赤）

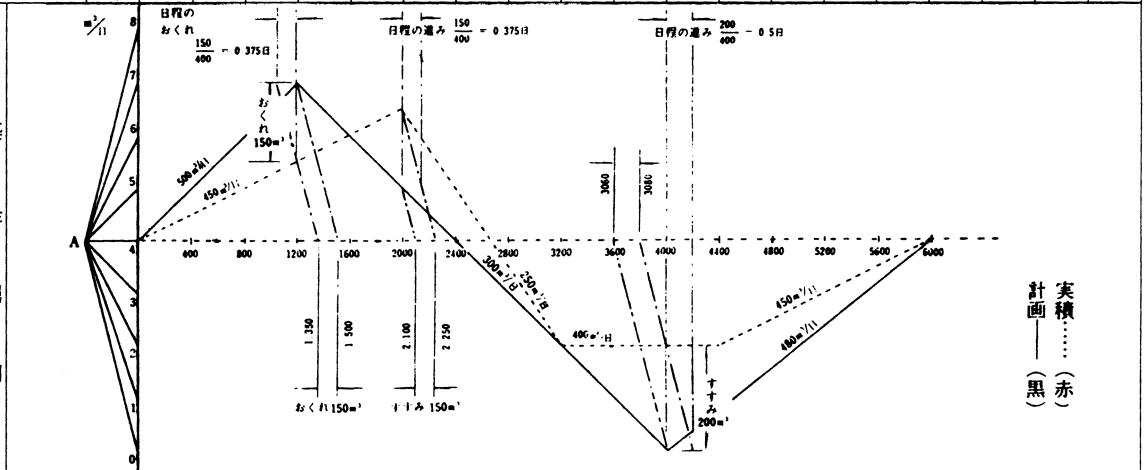


備　考　1．この工程表は段取が工程を支配するものに使用される。
　　2．天候は色分け記号をよってよい。

平成　　年度　○○○○○○工事　短期工程表　（参考例－6）

通算日数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15				
計画	月	8								9										
	日	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7				
実績	月	8								9										
	日	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7				
	天候																			

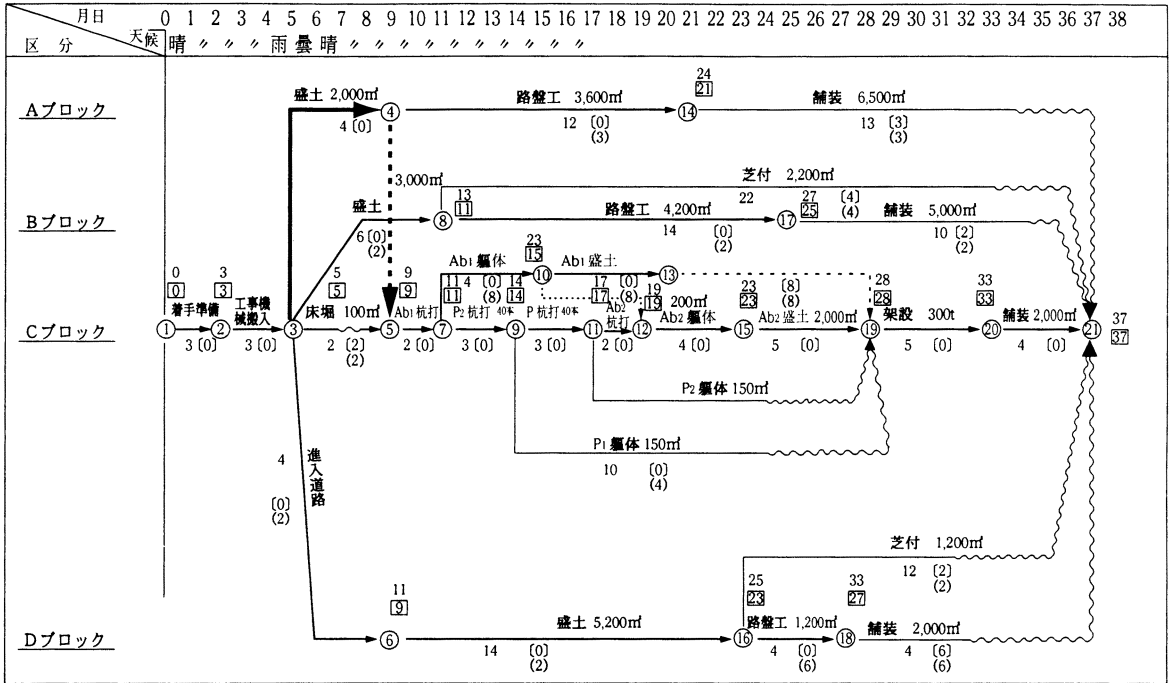
築堤掘削



土質					
予定	砂まじり粘土	砂　　礫	粘土まじり砂	砂　　礫	
実績	砂まじり粘土	砂　　礫	砂まじり粘土	砂　　礫	
採取ヶ所					
工程回復のための処置					

（注）本工程表は築堤あるいは掘削工事等に適用される。

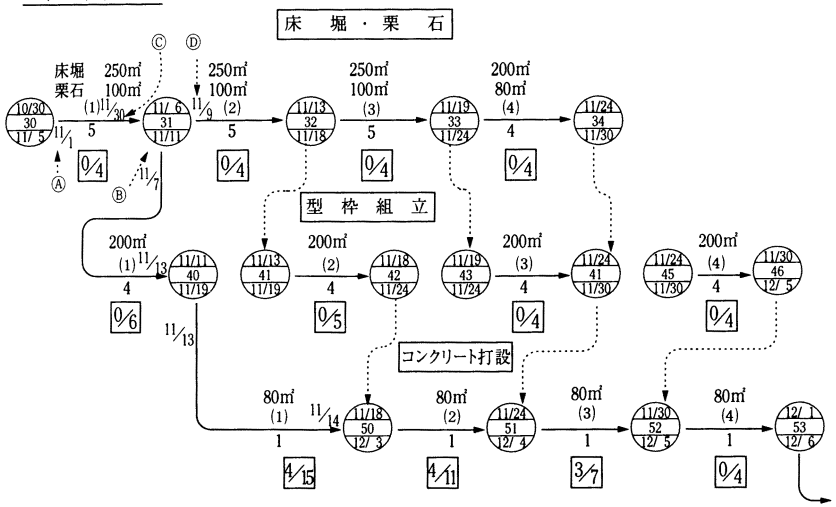
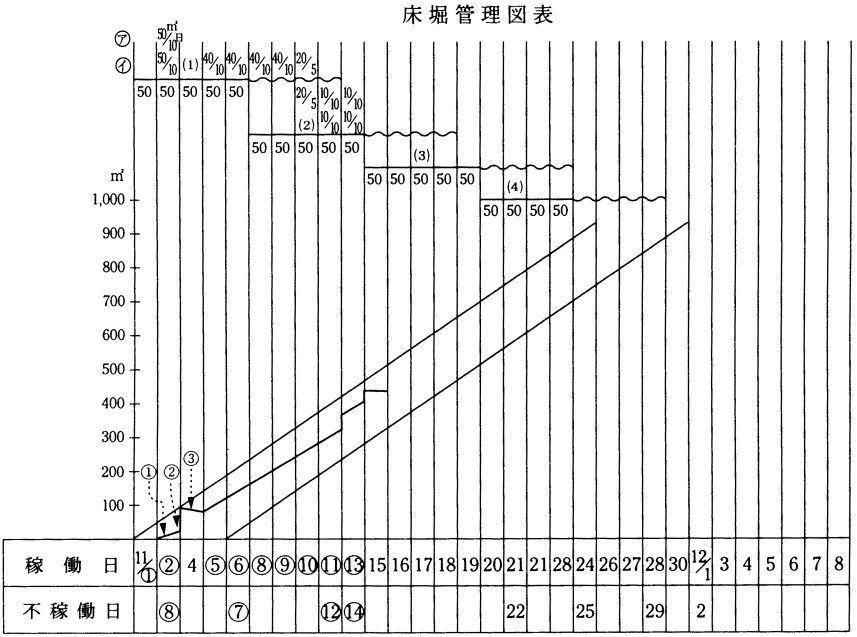
平成　　年度　○○○○○○工事　短期工程表　（参考例－7）



（注）　歴日目盛りに合わせて表示してあるため、最早開始時刻と最遅完了時刻は書かなくてもよい
〔　〕は余裕日数で(フリーフロート)で(　)は余裕日数(トータルフロート)である。

2)　実績の記入法

・ネットワーク



・管理図表